

# 岡山県地域公共交通ビジョン 骨子案

## 第1章 ビジョンの基本的な考え方

### ○ ビジョン策定の趣旨

地域住民の移動手段として重要な役割を担う地域公共交通ではありますが、人口減少やマイカーの普及により、その利用は減少傾向にあり、運行事業者の厳しい経営状況が続いています。さらには、コロナ禍の影響は脱しつつあるものの、運転手不足や燃料価格高騰といった課題に直面するなど、地域公共交通を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。

こうした状況を踏まえ、令和7年度にスタートした県政推進の最上位に位置付けられる総合的な計画である「第4次晴れの国おかやま生き生きプラン」では、「安心で豊かさが実感できる地域の創造」に向けた重点施策として、「地域公共交通ネットワークの活性化」に取り組むこととしており、国、市町村、交通事業者、地域住民等と連携しながら、地域の多様な輸送資源を活用し、地域の移動ニーズに応じた、持続可能で利便性の高い地域公共交通体系の構築を目指すこととしています。

そのため、様々な主体が、公共交通体系の中で、それぞれの役割を果たしながら、県民の移動手段の確保などに、より一層連携して取り組むことができるよう、県として、地域公共交通施策の方向性を示す「岡山県地域公共交通ビジョン」を新たに策定します。

### ○ ビジョンの対象地域

岡山県全域を対象とします。

### ○ ビジョンの位置付け

国、県、市町村、交通事業者、地域住民等が、それぞれの役割を果たしながら、より一層連携を強化して取り組めるよう、県として施策の方向性を示す指針となるものです。

### ○ ビジョンの期間

令和8年度から概ね5年間を目途とします。

(必要に応じて改訂を検討します。)

### ○ ビジョンの対象となる地域公共交通の範囲

対象となる地域公共交通の範囲について記載します。

## 第2章 岡山県の地域公共交通の現状

### ○ 現状

県民の移動実態を把握するため、令和4年度に実施した「岡山県パーソントリップ調査」や、全国における「交通空白」の地区数を把握するため、今年、国が実施した「交通空白」リストアップ調査の調査結果なども活用しながら、本県における地域公共交通の現状について記述します。

## 第3章 ビジョンの基本方針

### ○ 基本方針

すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き生き岡山」の実現を目指して、国、市町村、交通事業者、地域住民等と連携しながら、多様な輸送資源を活用し、地域の実情に応じた、持続可能で利便性の高い地域公共交通体系の構築を進めるとともに、県民の公共交通利用を促進し、地域公共交通ネットワークの活性化を図ります。

### ○ ビジョンの視点

岡山県地域公共交通ビジョンでは、次の点に留意して施策の方向性を示します。

- ・ 国、県、市町村、交通事業者、地域住民の連携（役割分担）
- ・ 県南都市部と中山間地域等の地域別の方向性
- ・ 広域交通と地域内交通（交通空白解消等）の方向性

## 第4章 施策の方向性

別紙のとおり

## 第4章 施策の方向性

